

Ⅱ．産学連携事業推進委員会

i．2015 年度第 1 回産学連携事業推進委員会

日時：2015 年 7 月 8 日（水）午後 4 時半～6 時

場所：京都大学 百周年時計台記念館 2 階 会議室Ⅳ

出席者：

委員長	京都大学経営管理大学院 院長	河野 広隆
コーディネーター	京都大学経営管理大学院 教授	若林 直樹
内部委員	京都大学経営管理大学院 特定准教授	前川 佳一
外部委員	株式会社京阪流通システムズ 代表取締役社長	上野 正哉
外部委員	三和実業株式会社 代表取締役 会長	松本 孝
外部委員	公益社団法人日本観光振興協会人材育成担当部長	田中 剛
外部委員	日本小売業協会 専務理事	岡部 義裕
事務局他	京都大学経営管理大学院 大学院掛長	小屋敷 浩
事務局他	京都大学経営管理大学院 企画室長	櫻木 恵子
事務局他	京都大学経営管理大学院 若林研究室	桑原 徳子
事務局他	京都大学経営管理大学院 企画室	佐野 具子



議事録：

I. 議題

(6) カリキュラム案について【資料1】

- ・若林直樹教授から授業概要についての説明があった。
 - ・日本小売業協会専務理事 岡部義裕氏から、中小・ベンチャー企業のフランチャイズやボラタリーチェーンの成功企業から学んではとの意見があった。
- また、人材育成・おもてなしのノウハウについても学びが必要ではとの意見があった。
- ・三和実業株式会社代表取締役会長 松本孝氏から、サービス業の国際化や女性の雇用についての意見があった。それを受けて、若林直樹教授から、来年度は、女性講演者を増やすことを検討するとの意見があった。
 - ・日本観光振興協会 人材育成担当部長 田中剛氏から、「ツーリズム産業論」(選択科目)の講義について、今後の企業人講演の参考とするために、受講者アンケート等フィードバックが必要との意見があった。
 - ・株式会社京阪流通システムズ 代表取締役 上野正哉氏から、企業は新規事業提案が課題になっており、「新規ブランド開発ワークショップ」への期待についての意見があった。
 - ・来年度のカリキュラムについて、上記、外部委員からの意見を参考にすることとなった。

(7) 募集要項について【資料2-1】【資料2-2】

(8) 募集の進め方【資料3】

- ・資料に基づき、若林直樹教授から募集についての説明があった。
 - ・受講スケジュール(曜日・時間)について、外部委員から活発な意見があった。
- 企業の定時退勤曜日に合わず・17時は、早すぎる・18時開始にしてはどうか等
今年度は、予定通りすすめ、来年度は、曜日・受講時間についても見直すことが決定された。

(9) Eラーニングサイト【資料4】

- ・事務局員桑原徳子氏から、サイト利用についての説明があった。

(10) 今年度のスケジュール【資料5】

- ・若林直樹教授から資料に基づき、今年度のスケジュールについての説明があった。

【資料1】

京都大学 サービスMBA入門プログラム 産学連携事業推進委員会

2015年7月8日

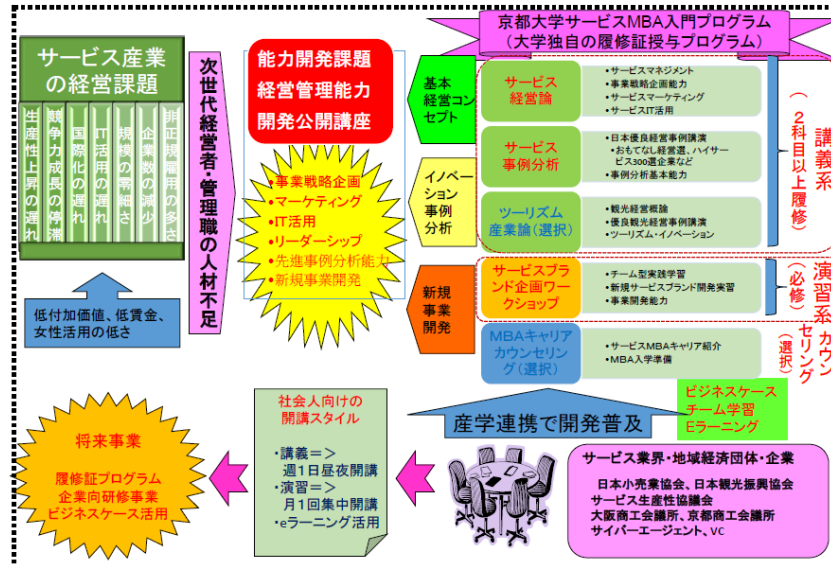
授業実施概要と4科目の内容の案

目次

- I. 事業概要
- II. 授業展開
- III. 4科目の内容
- IV. 能力評価手法

参考資料: 文部科学省平成26年度「高度人材養成のための
社会人学び直し教育プログラム」採択「京都大学サービスMBA入門プログラム」

(様式1)(別紙1)



Ⅱ. 授業展開

授業展開

- ・ 期間
 - ・ 授業：2015年10月2日～2016年12月19日（土）
（11月27日休み）
 - ・ オリエンテーリング：10/2（金）17時～開講式時に開催予定
- ・ 時間帯
 1. サービス経営論、サービス産業事例分析（各70分：15回分）
 - ・ 金：5～7限：30コマ
 - ・ 2015年10月2日～2016年12月11日（金）
 2. 新規ブランド開発ワークショップ
 - ・ 不定期：土曜日 10:00-16:00
 - ・ 10月3日（土）：京都大学
 - ・ 10月17日（土）：大阪
 - ・ 11月21日（土）：京都大学もしくは京都駅前
 - ・ 12月19日（土）：京都大学
 3. ツーリズム産業論（学内で実施）
 - ・ 2016年2月～3月の内

時限	金	土（月1回）
1：8:45-10:15		10:00-16:00
2：10:30-12:00		新規ブランド開発ワークショップ
3：12:00-14:30		
4：14:45-16:15		
5：17:00-18:10	サービス産業事例分析	
6：18:25-19:35	サービス産業事例分析またはサービス経営論	
7：19:50-21:00	サービス経営論	

2015年スケジュール

日程	10/2 (金)	10/3 (土)	10/9 (金)	10/16 (金)	10/17 (土)	10/23 (金)	10/30 (金)	11/6 (金)	11/13 (金)	11/20 (金)	11/21 (土)	12/4 (金)	12/11 (金)	12/18 (金)	12/19 (土)
10-16	WS			WS			WS			WS			WS		
17:00-18:10	開講式		経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	補講予備日	
18:25-19:35	経営論		経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	補講予備日	
19:50-21:00	事例分析		経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	経営論 又は事例	補講予備日	
場所	キャンパス バスプラザ ザ京都	京大	キャンパス バスプラザ ザ京都	キャンパス バスプラザ ザ京都	キャンパス バスプラザ ザ京都	大阪駅前	キャンパス バスプラザ ザ京都	キャンパス バスプラザ ザ京都	キャンパス バスプラザ ザ京都	キャンパス バスプラザ ザ京都	京大	キャンパス バスプラザ ザ京都	キャンパス バスプラザ ザ京都	キャンパス バスプラザ ザ京都	京大

※12月18日は、台風等で休講になり、補講が発生した際に、授業を行う予備日。現在は開講予定なし。

開催時間／場所

・講義系

- ・10－12月期：毎週金曜日夜
 - ・サービス経営論：キャンパスプラザ京都
 - ・サービス産業事例分析：キャンパスプラザ京都
- ・1－3月期
 - ・ツーリズム産業論：京都大学

・演習系

- ・10－12月期に4週間おきの土曜日合計4回
 - ・新規サービスブランド開発ワークショップ：京都大学など

講義系開催場所：キャンパスプラザ京都



公益 大学コンソーシアム京都
財団 法人 The Consortium of Universities in Kyoto

名 称 キャンパスプラザ京都（京都市大学のまち交番センター）

所在地 京都市下京区西御院通塩小路下る東塩小路939

開始時間 8：30～21：30

休館日 月曜日、12月28日～1月4日

受付窓口 075-353-9111／9：00～19：00
（休館日を除く）

6階 大学院等共同サテライト

5階 第1講義室、第2～5演習室、共同研究室

4階 第2～4講義室（第3講義室を使用）

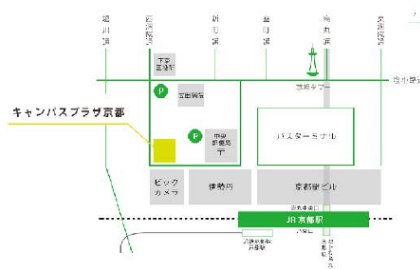
3階 放送大学京都学習センター

2階 第1～3会議室、ホール、和室

1階 大学コンソーシアム京都事務局、学生Place+

ラ・カフェテリア 京都店、駐輪場

地階 駐車場



Ⅲ.各科目の概要

Ⅰ. サービス経営論(1): 概要と目標

目的

- サービスは、顧客の価値と一緒に作り出すビジネスである。そのために、サービスのマネジメントには、独自の経営原理が存在する。この授業では、サービスの本質、マーケティングの特性、サービスのデザイン、生み出す組織作り、イノベーションの仕組みについての基本的なマネジメントの考え方を理解する。

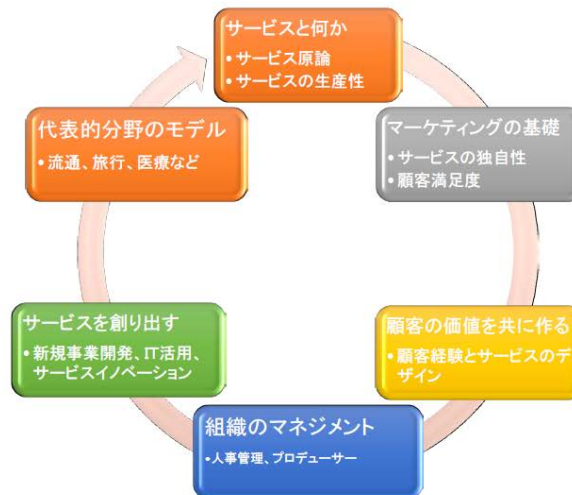
能力目標

サービス事業
戦略企画能力

サービスマーケティング能力

サービス事業
IT活用能力

サービス経営論(2):プロセス



サービス経営論(3):講義の概要

I. サービスとは何か	・サービスとマネジメントの特徴 ・サービスの生産性分析: サービスの生産性/コストの分析/生産性向上
II. サービス・マーケティングの基本	・サービス・マーケティング(1): ホスピタリティ/プロセス ・サービス・マーケティング(2): サービス・ドミナント・ロジック/基本要素/顧客との協働 ・顧客満足度とは何か/顧客満足度の分析/JCSIの優良事例
III. 顧客の価値を一緒に作る	・顧客との共同での経験デザイン: 顧客経験のデザイン/顧客とのインタラクション/一緒に作る ・サービスのデザイン: サービスの環境(エコシステム)/プロトタイピング
IV. 生み出す組織のマネジメント	・人事管理の基本原則: コンピテンシー/内的動機付け/能力開発 ・プロデューサーの役割: リーダーシップ/プロデューサーの役割
V. サービスを創造する	・サービスにおける新規事業開発: 新規事業開発/ビジネスモデルづくり/即興性のマネジメント ・IT戦略: ITによる生産性向上/戦略的アウトソーシング/クラウド・コンピューティング ・サービス/イノベーション: サービスのおもてなし/イノベーション/サービスvs製造業
VI. 代表的分野でのモデル	・流通産業でのサービス・マネジメント: 経営課題/ITの活用 ・ツーリズム産業のサービス・マネジメント: 経営課題/ホスピタリティ/グローバル化とアライアンス ・ヘルスケア産業のサービス・マネジメント: 経営課題/顧客生活の質/個別化するサービスなど

サービス経営論2015年度各回予定案

I. サービスとは何か

1. サービスとそのマネジメント：原（京都大学）
サービスとは何か／サービス・マネジメントの基本課題
2. サービスにおける生産性の分析：新村（がんこフードサービス株式会社）
サービスの生産性／コストの分析／生産性の向上

II. サービス・マーケティングの基本

3. サービス・マーケティング（1）：若林靖永（京都大学）
サービスの特徴／ホスピタリティ／プロセス
4. サービス・マーケティング（2）：若林靖永（京都大学）
サービス・ドミナント・ロジック／マーケティングの基本要素／顧客との協働
5. 顧客満足度の実践的分析：湯浅（サービス産業生産性協議会）
顧客満足度とは／その測定と分析／JCSI優良企業の特徴

III. 顧客の価値を一緒に作る

6. 顧客との共同での経験デザイン：鈴木智子（京都大学）
顧客経験のデザイン／顧客とのインタラクション／一緒に価値を作る
7. サービスのデザイン：山内（京都大学）
サービス・デザイン／サービスの環境（エコシステム）／プロトタイピング

IV. サービスを生み出す組織のマネジメント

8. サービス組織における人的資源管理：若林直樹（京都大学）
サービス・コンピテンシー／動機付け／学習と能力開発
9. プロデューサーとその役割：山下勝（青山学院大学）
プロデューサー／プロジェクト管理／創造性活性化

V. サービスを創造する

10. サービスにおける新規事業開発：山田仁（大阪市立大学）
新規事業開発／ビジネスモデルづくり／即興性のマネジメント
 11. サービスにおけるIT戦略：松井（京都大学）？
ITによる生産性向上／戦略的アウトソーシング／クラウド・コンピューティング
 12. サービスのイノベーション：前川（京都大学）
サービスのおもてなし／イノベーション／サービスVS製造業
- ## VI. 代表的サービス産業でのサービス・マネジメント・モデル
13. 流通産業でのサービス・マネジメント：碓井誠（京都大学）
流通産業の経営課題／ITの活用
 14. ツーリズム産業のサービス・マネジメント：今西珠美（流通科学大学）
ツーリズム産業の経営課題／ホスピタリティ／グローバル化とアライアンス
 15. ヘルスケア産業のサービス・マネジメント：瓜生原葉子（同志社大学）
プロフェッショナルなサービス／医療や生活の質／サービスの拡大と個別化

授業の形式

- 3部形式(合計70分)
 - 3つのコンセプト(各20～25分)
 - 基本コンセプトの紹介／説明
 - 代表事例の紹介
 - まとめ:今日のポイント
- 例:リーダーシップ
 1. コンピテンシー
 - 会社に求められる能力＝コンピテンシー
 - 事例:AIUのカスタマー対応
 2. 動機付けの仕方
 - 内発的動機付け、エンパワメント
 - 事例:コールドストーンクリーマリー
 3. 能力開発の仕組み
 - おもてなしを考えてもらう
 - TDLでのキャスト支援と品質管理

II. サービス産業事例分析(1): 目的と能力

目的

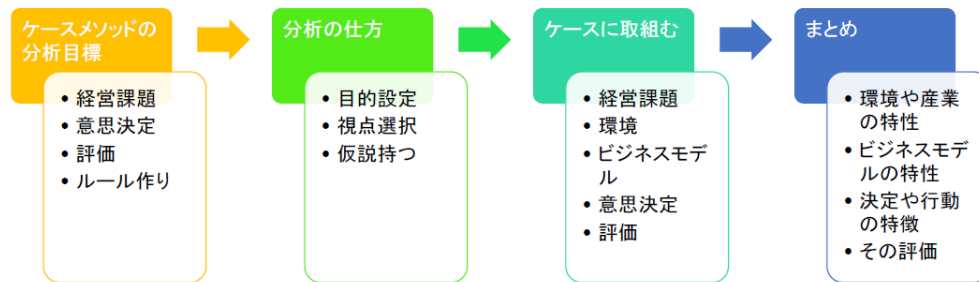
- サービスのビジネスモデルは刻々と進化し、国際的な競争を行っている。ケース・メソッドに基づき、サービス経営の先進事例を実務家との対話で学び、そのビジネスモデルの特性を理解し、産業のコンテキストを外して応用する能力を持つことを狙いとする。そうした点で、国際的な競争力や生産性を高める上で必要である。日本の主要なサービス経営優秀事例シリーズを使い展開する。E-learningを活用する。

能力開発

先進事例分析能力

- ケースメソッド
 - 現実のビジネス事例から異業種でも経営課題、ビジネスモデルと意思決定の分析を行える能力
- 代表的ケースの分析
 - 日本
 - 「ハイサービス日本300選企業」／経済産業省「おもてなし経営企業選」／先進的サービス企業
 - 海外
 - シンガポール経営大学やハーバード・ケースなど代表事例、コンソーシアム企業事例など

サービス産業事例分析(2): ケース分析



サービス産業事例分析(3): 2015年予定

・優秀事例講演企業

番号	企業名	職位
1	株式会社ルネッサンス	会長
2	イオン株式会社	戦略部コーポレート・ブランディングリーダー
3	Leave a Nest Co. Ltd.	役員
4	がんこ寿司	副社長
5	サイバーエージェント	未定
6	リクルート	
7	ワタベウェディング	執行役員
8	H2Oリテーリング	常務
9	A N A	未定
10	ライフネット生命	社長
11	愛媛トヨタ自動車販売	社長
12	QBハウス	社長
13	恵寿総合病院	院長
14	C o C o 壺番	常務

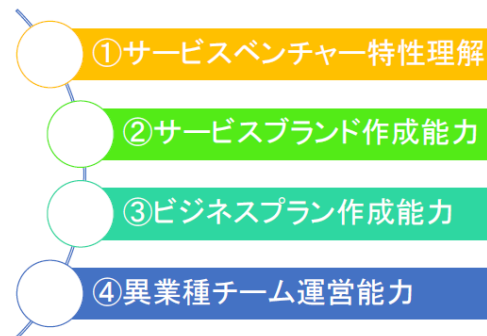
Ⅲ.新規ブランド開発ワークショップ(1):目的

目的

- 総務省2012年の経済センサスによれば、サービス業全般に7%事業所減で、新規事業開発能力不足が見られる。
- 新規のサービスブランド企画を実習ケースにして、ビジネスプランを作成する基本プロセスを経験し、新規事業開発プロセスを理解する基本的能力の育成。

能力開発目標:

新規サービス事業開発能力



新規ブランド開発ワークショップ(2):プロセス

プロセス

- 新たなサービス事業開発の基本を事業計画の企画書作成ワークショップ活動を通して学ぶ。
- 異なる職能によるチームで、事業企画、事業化プロセス、投資決定などを共同で行う。

展開

- 事業計画作成プロジェクトチーム結成
- 4回にわたる講義・現場視察・仮説検証サイクル作業や発表・討議などで進行
- 最終回に、疑似的な投資委員会形式で最優秀チームと優秀事業計画書を選出。

新規ブランド開発ワークショップ: 日程(予定)

	10:00-12:00	13:00-14:30	14:45-16:30	備考
第1日(10月3日土) 事業開発概論 とチーム構築	(講義)新規事業開発 概論・企業家チーム論	(講義)事業機会開 発論 / (実習)参加 者新規事業構想発表	(講義)新規事業戦略 立案 / (実習)チーム・ ビルディング	京都大学実施。終了後、 懇談のための茶話会予 定
第2日(10月17日土) 事業計画作成 とケース議論	(実習)サイバー エージェント社での 新規事業開発実習	(講義)ビジネスモデル 概論	(ケース分析)ビジネス モデル開発ケース / チーム事業案指導	大阪会場にて実施
第3日(11月21日土) 事業仮説の 作成と展開	(講義)新規事業実施マ ネジメント論	(実習)各チーム新規事 業案発表	(講義)事業開発過程 論 / 事業評価論	京都大学実施。
最終日(12月19日土) 投資決定と事業計画発 表	(講義)投資決定概論 / (実習)チーム報告準 備	(実習)各チーム事業案 発表	(実習)新規事業投資 決定委員会の評価と講 評	京都大学実施。VCより 審査委員参加予定。

(2)授業内容

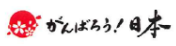
- 1) 目的: 4日間でブランドとなる新たなサービス事業の開発行う。
- 2) 特色: 事業開発手法の講義とチーム実習を中心に、事業開発過程体験。
- 3) チーム実習手法: チームを編成して、新規事業開発を実習。
- 4) ケースメソッド: 代表的新規事業開発事例に基づく討議中心
- 5) 講師陣による指導: 市場性・規模性他のチェック項目等を踏まえた事業計画指導。
- 6) 新規事業投資決定の経験: 現職ベンチャー・キャピタリストから投資決定評価と指導

IV. ツーリズム産業論

- (授業の概要・目的)
- ツーリズム産業のトップマネジメントや学識経験者を客員講師として招聘し、理論面とともに実務面からもツーリズム産業の実態を理解し、今後のツーリズム産業のあり方を論じることを目的とした講義を展開する。
- 21世紀に入り、旅行者のニーズ変化、旅行スタイルが大きく変わる中で、関連業界はもとより、観光地などの旅行サービスの供給構造にも大きな変化がみられる。「ニューツーリズム」と呼ばれるエコ・ツーリズム、グリーンツーリズム、ヘルスツーリズム、産業観光等新しい形態が生まれている。まさに産業界全体が曲がり角と言える状況を迎えており、これに対応し、イノベーションできる人材育成を目指す。

今年度ツーリズム産業論

平成 27 年度 京都大学 日本観光振興協会 寄附講義「ツーリズム産業論」 教務日程



開講： 前期 4 月 13 日～7 月 27 日 月曜日 4 限 (14 時 45 分～16 時 15 分) 吉田キャンパス 本館内 法経経済学部棟 2 階 法経第 3 教室				
回数	月 日	講義題目 (修正される場合もあります)	講義担当者	所属
1	4 月 13 日	ガイダンス	前川 佳一	京都大学大学院 准教授
2	4 月 20 日	日本の観光政策とインバウンド施策の概要	小堀 守	日本政府観光局 (JNTO) 統括役
3	4 月 27 日	ホテルビジネスの課題と今後の戦略	横山 健一郎	ハイアット リージェンシー 京都 総支配人
4	5 月 1 日	京都市の観光政策	門川 大作	京都市長
5	5 月 11 日	宿泊産業の課題と今後	酒井 俊之	(株)星野リゾート 星のや京都 総支配人
6	5 月 18 日	外国人観光客に日本流のおもてなしを	川上 全龍	臨濟宗妙心寺派本山塔頭 春光院 副住職
7	5 月 25 日	観光における鉄道ビジネスの果たす役割とは	橋本 修男	西日本旅客鉄道(株) 営業本部次長 東京営業部長
8	6 月 1 日	エアラインビジネスの潮流と今後の戦略	藤田 直志	日本航空(株) 取締役寺務執行役員
9	6 月 8 日	テーマパークのマーケティング戦略	村山 卓	(株)ユー・エス・ジェイ マーケティング本部 営業部 部長
10	6 月 15 日	旅行業の課題と今後の戦略	加藤 真人	KNT-CTホールディングス(株) 執行役員
11	6 月 22 日	テーマパークのマーケティング戦略	横山 政司	(株)オリエンタルランド 人事部 人事一部 副部長
12	6 月 29 日	観光まちづくり ～観光による地域活性化～	古田 菜穂子	岐阜県 商工労働部 観光交流推進局 顧問
13	7 月 6 日	MICE ～日本における取組と課題～	徳永 清久	(株)プリンスホテル 執行役員
14	7 月 13 日	ツーリズム産業論 (まとめ)	日比野 健	(株)JTB総合研究所 代表取締役社長
15	7 月 27 日	テストと解説	前川 佳一	京都大学大学院 准教授

IV. 評価と能力認定

評価

- 履修証プログラム
 - 京都大学経営管理大学院「京都大学サービスMBA入門プログラム履修証」
- その履修要件
 1. 講義系2科目受講
 - サービス経営論＋サービス産業事例分析（＋ツーリズム産業論）
 2. ワークショップ履修
 - 新規ブランド開発ワークショップ履修
- 能力開発認定

講義系

サービス経営論

サービス産業事例分析

- E-learningシステム
 1. 各回3問程度の選択問題
 - キーコンセプトの理解
 2. 小レポート提出（200-400字）
 - 理解度を問う

ツーリズム産業論

1. 京都市観光経営学講座
 - 小レポートによる理解度チェック
2. ビデオ教材
 - E-learningシステム
 1. 各回3問程度の選択問題
 - キーコンセプトの理解
 2. 各回小レポート提出（200-400字）
 - 理解度を問う

ワークショップ

- ・各回での課題作成
- ・各チームでの最終提案作成
- ・振り返りレポート

【資料 2－1】

2015年度 京都大学経営管理大学院・社会人学び直し講座 「京都大学サービスMBA入門プログラム」 受講者出願要項

京都大学経営管理大学院（大学院経営管理教育部）は、文部科学省「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」事業の一環で、サービス分野での経営や管理を担う中堅の社会人を対象にして、サービス経営学の基本的なセオリー、優秀サービス経営事例を体系的に学び、新規サービス事業の開発能力を養成する社会人講座を開きます。ご関心のある方は、ふるってご応募ください。

なお、本プログラム受講修了者は京都大学経営管理大学院長発行の「京都大学サービスMBA入門プログラム履修証」を交付されます。

I. 募集人員

15名

II. 出願資格

出願時において、次の①から③のいずれかの資格を有し、なおかつ④に該当する者（ただし、日本の他大学正規課程に在学中の者は出願できません。）

- ① 大学を平成24年3月以前に卒業した者
- ② 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により学士の学位を平成24年3月以前に授与された者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を平成24年3月以前に修了し、学士学位を取得した者

- ④出願時点で、日本に在住し、企業、団体で経営もしくは勤務している者

Ⅲ. 出願手続

(1) 募集要項等の請求

募集要項ならびに出願書類の書式は、全て本大学院のウェブサイト
(<http://www.gsm.kyoto-u.ac.jp>)より入手できます。ウェブからダウンロードし、各自で印刷した用紙 (A4 片面) を出願書類として使用してください。

(2) 出願書類

1. 受講希望票	【所定用紙】
2. 在職証明書	出願時点で在職の企業、団体の在職証明書 1 通。
3. 大学の卒業証明書	1 通
4. 写真(4×3cm) 2 枚	(①受講志願書の所定欄に貼付、②受講証用にもう 1 枚添付)
5. 結果通知発送用封筒	①角形 2 号封筒(332mm×240mm)と②長形 3 号封筒 (120mm×235mm) の 2 枚をご提出ください。各封筒に出願者の住所・氏名・郵便番号を明記してください。(切手は貼付不要)
6. 英語能力に関する証明書類 (任意提出)	原則として TOE I C, TOE F L, I E L T S 等の英語能力に関する証明書類 (発行日より 10 年以内) 1 通の提出が望ましい。
7. 推薦状 (任意提出)	所属団体企業等からの推薦状 (書式自由)

以下は該当者のみ

日本語能力認定書(写)または 日本語能力試験成績通知書(写)	外国人のみ (特別永住者は除く)
-----------------------------------	------------------

Ⅳ. 出願書類の提出方法

出願者は、Ⅲ (2) の出願書類等を一括し、次の出願期間に「書留郵便」等、追跡可能な方法で郵送してください。窓口での受付は行いませんのでご注意ください。

④ 出願期間

平成 27 年 7 月 22 日 (水) から 8 月 28 日 (金) 午後 5 時まで (必着)

⑤ 出願書類等の提出先

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学経営管理大学院
「京都大学サービス MBA 入門プログラム」事務局

⑥ 出願期間早期終了の可能性

出願者が募集人員の 4 倍を超えた場合、京都大学経営管理大学院ウェブサイト
で予告の上、募集を終了することがありますので、ご注意ください。

Ⅴ. 選考方法

(2) 選考方法

【書類選考】書類審査にて行います。

【面接選考】面接審査にて行います。なお、面接審査は、9 月 11 日 (金) と 12 日 (土) の所定の時間を実施します。希望日をあらかじめ書類に記入してください。

面接場所は、京都市内で実施します。面接開始時間等詳細については、第1次選考結果通知時にお知らせします。

(2) 選考の優先条件

なお、本プログラム助成条件の、産学連携による社会人教育開発の観点から、受講者の選考に関しては、次の条件を優先することがあります。

- ⑦ 後援団体である関西経済連合会、大阪商工会議所、京都商工会議所、日本小売業協会、公益社団法人日本観光振興協会などの各団体の会員企業・団体の社員、職員を優先します。
- ⑧ 通学の関係から、関西地方およびその近辺に在住の者を優先することがあります。
- ⑨ 将来的に京都大学大学院経営管理教育部（専門職学位課程）経営管理専攻サービス価値創造プログラムへの入学希望者を優先するために、入学に必要な英語能力を持つ者を優先することがあります。
- ⑩ サービス分野の次世代の経営者、管理職を担う若い世代を優先することがあります。

VI. 受講者発表

【書類選考】平成27年9月4日（金）

志願者全員へ合否通知を提出された封筒により発送いたします。
送付日より5日を経ても結果通知が届かない場合はお問い合わせください。
なお、合格者に対しては、面接選考の詳細についても併せて通知します。

【面接選考】平成27年9月16日（水）

面接選考対象者全員へ合否通知を提出された封筒により発送いたします。

VII. 受講手続等

- 4. 受講手続日程については、受講者決定通知の際に指示します。
- 5. 受講料
全期間を通じて、**40,000円**
- 6. 受講料は受講決定後、速やかに一括納入してください。受講料を指定期日までに一括納入しない場合には、受講取り消しとなります。

VIII. 履修について

- 1. 履修条件は、講義系2科目（サービス経営論、サービス産業事例分析）と演習系1科目を履修することになります。選択履修として、ツーリズム産業論があります。
- 2. なお、本プログラム受講修了者は、京都大学経営管理大学院長発行の「京都大学サービスMBA入門プログラム履修証」を交付されます。
- 3. 履修に際しては、自宅もしくは職場等でインターネットを使える技能と環境があることが必要となります。履修に関する連絡は、電子メールもしくはウェブサイトで行い、予習補習や評価に関わることをウェブサイト上のEラーニングシステムを使って行います。

IX. 受講期間

- 1. 受講期間は6カ月とします。（10月1日～翌年3月31日）。
- 2. 講義系2科目（サービス経営論、サービス産業事例分析）は、10月2日（金）より12月18日（金）の毎週金曜日（11月27日を除く。また12月1

8日は補講日）午後5時から9時に、キャンパスプラザ京都内にて実施する予定です。また、演習系1科目は、毎月1－2回土曜日に、京都大学等を会場に実施する予定です。ツーリズム産業論は、選択希望者にのみ、1月～3月に行います（別途開講日をご連絡します）。

X. 個人情報の取り扱いについて

次のことについて、予めご了承ください。

1. 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。
2. 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所及びその他の個人情報については、①受講者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③受講手続業務を行うために利用します。
3. 出願に当たってお知らせいただいた個人情報は、受講者のみ、①教務関係（学籍、修学指導等）、②受講料徴収に関する業務を行うために利用します。
4. 出願書類は、返却いたしません。受講者決定後、こちらでシュレッダーにて廃棄いたします。

XI. 付 記

1. 出願書類等の氏名は通称・略字などを使用せず必ず戸籍簿（外国人の場合は住民票）どおりに記入してください。
2. 納入された受講料はいかなる場合も払いもどしはしません。また、所定の期日までに納入しない場合は、受講を許可しません。（納付期日は、受講通知の際に通知します。）
3. 本プログラムは、平成26年度文部科学省「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」の対象事業（平成26－28年度）に選定され、その助成を受けて実施しております。
4. 本プログラムの受講資格は、京都大学大学院の本科学生、研究生、科目等履修生にはあたりません。また、履修した科目の単位認定は行いません。
5. いかなる理由があっても、受講期間の延長はできません。
6. コンプライアンスの観点から、受講者およびその出願者に関しては、所属している企業、団体、その役員もしくは従業員（その企業・団体の業務に従事する者を含む）が、反社会的な勢力（暴力団、暴力団員・準構成員、暴力団関係企業、特殊知能暴力集団等その他これらに準じる者）に該当しないこと及びこれらの者と密接な関わりを有していないことを条件とします。また、受講中にそれらへの関与が明らかになった場合には、受講を中止してもらうことがあります。
7. その他ご不明な点がありましたら下記へ照会してください。

京都大学

経営管理大学院

「京都大学サービスMBA入門プログラム」事業事務局

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

電話 075-753-3535

svc-mba-office@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

<参考資料> 各科目の授業予定

詳しくは、「京都大学サービスMBA入門プログラム」ウェブサイトを参照のこと

<http://www.gsm.kyoto-u.ac.jp/smba/> (平成27年7月中旬開設予定)

A. 講義系科目

I. サービス経営論

3. 授業で触れるポイント

サービスとは何か／サービス・マーケティングの基本／サービス・デザイン／
組織のマネジメント／サービスの開発とイノベーション／

代表的分野でのビジネスモデル(流通、ツーリズム、ヘルスケアなどの各産業分野)

II. サービス産業事例分析

1. 実務家による優秀サービスビジネスモデル講演

サービス産業生産性協議会「ハイ・サービス日本300選」、経済産業省「おもてなし経営企業選」の受賞企業や代表的な企業

4. 2015年度講演予定企業(五十音順)

H2Oホールディングス、がんこフードサービス、サイバーエージェント、全日空、
ライフネット生命、リクルート、ルネサンス、ワタベウェディングなど

III. ツーリズム産業論(5名以内が科目選択可能)

2. ツーリズム産業に関する代表的なビジネスモデルの実務家からの紹介

ツーリズム産業のトップマネジメントや学識経験者を客員講師として招聘し、理論面
とともに実務面からもツーリズム産業の実態を理解し、今後のツーリズム産業のあり方
を論じることを目的とした講義を展開する。

B. 演習系科目

I. 新規ブランド開発ワークショップ

1. 授業内容

① 目的: 4日間でブランドとなる新たなサービス事業の開発。

② 特色: 事業開発手法の講義とチーム実習を中心に、事業開発過程体験。

③ チーム実習手法: チームを編成して、新規事業開発を実習。

④ ケースメソッド: 代表的新規事業開発事例に基づく討議中心。

⑪ 講師陣による指導: 市場性・規模性他のチェック項目等を踏まえた事業計画指導。

⑫ 新規事業投資決定の経験: 現職ベンチャー・キャピタリストから投資決定評価と指導。

以上。

【資料 2-2】

京都大学経営管理大学院

高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム

No.

2015 年度「京都大学サービスMBA入門プログラム」受講希望票

ふりがな				印	写真貼付欄 1. 縦 4cm×横 3cm 2. 正面 上半身 脱帽 背景なし 3. 裏面にこのリベスチ 4. 裏面に氏名記入
氏 名					
生年月日	1 9	年	月	日 (満 歳)	
自宅電話		E-MAIL			
F A X		携帯電話			
ふりがな					
現住所	〒				
社 名		所 属		役 職	

(注) 以下は手書きではなくワープロで記入してください(ただし元の記載事項や罫線などは変更しないこと)。

卒業年月（西暦）	出 身 学 校		
年 月	大学大学院	研究科	専攻
年 月	大学	学部	学科
年 月	都道府県／	立	高等学校

[illegible]

志 望 動 機 と 学 習 目 的
なぜこのプログラムを受講したいのか、どのような学習をしたいのか、その学習を今後のキャリアアップにどう活かしたいのかについて、記入してください。

以下は選考要件ではありません（授業実施の参考にさせていただきます）。

あなたのニーズ・状況を把握し、授業内容やクラス分け等に反映させ、スムーズに開講するためにお伺いします。

1. あなたの IT 環境、IT スキルについて教えてください（あてはまるものに○）。

パソコン : ①自宅で使える ②会社で使える ③使えない

プリンター : ①自宅で使える ②会社で使える ③使えない

Word : ①使えない ②簡単な文書入力ができる ③図形描画、表作成などを実務作業で使える

Excel : ①使えない ②簡単なデータ入力・表作成ができる ③経理処理や営業などの実務作業で使える

Power Point : ①使えない ②簡単なスライド作成ができる ③実務でプレゼンテーションができる

インターネット技能（電子メール、ウェブ閲覧）: ①持っている ②持っていない

インターネット環境: ①自宅で使える ②職場で使える ③使えない

その他スキル: ()

2. ツーリズム産業論への参加希望を教えてください。5名限定で、2016年1～3月期に実施します。

①希望する ②希望しない

3. 面接にお越しいただける時間帯に全て○を付けてください。

9月11日（金） 18:00～19:30 ()

9月12日（土） 10:30～12:00 ()